



ワタナさんの感想

My name is Vathanak from Cambodia. I work since 2016 with IPS, member of IKEE Group.
I came to Japan 09th February and star training at IKEE Co., Ltd of Masaki office.
After training, I would like to share Japanese Technology to develop Cambodia's infrastructure and IPS as pavement quality control, construction and recycling material.

2月10日から3月8日の間、カンボジアのIPS・IBCのワタナさんとチーさんが研修のため来日しました。

IPS・IBC 現地社員
本邦研修



春分 第51号
令和2年3月発行
各社・各部署は掲載事項がありましたら、管理本部までお送り下さい。
TEL089-921-3030
FAX089-913-7432
k.hayase@ikee.jp (担当 早瀬)

チーさんの感想

My name is TENG Chy
I came to Japan on 10 February 29th 2020. The purpose I come to learning pavement technology and training pavement skill as quality management, construction management and site management.
It is my first time to come and live in Japan. I feel very cold. I have never got this experience but it is also enjoyed time in life. I come here not just training but it also various field by touching Japanese culture. The Japanese food is delicious.
I would like to contribute to the further development of IPS and IBC to use the knowledge of pavement quality control method and on-site technical that a received.



＜西山諒さんコメント＞
2020年1月1日より(株)愛亀に入社しました西山諒と申します。
入社後、約1ヶ月間、各部署及び各グループ会社の方々の御協力のもと本研修準備に取り組み、2月10日～3月8日までの間、彼らの研修を担当させて頂きました。研修期間中御協力頂きました皆様誠にありがとうございました。
愛亀グループ研修・安全管理・品質管理・機械研修・現場研修・乳剤工場研修等、1ヶ月という短い期間の中で、私を含め彼らにとっても有意義な時間を過ごせたと思います。
また、日常生活や観光を通して多くの日本文化に触れて頂いたことが、土木分野のみならず、様々な分野への応用の一助及び好奇心の種となってくれればと思っております。

有意義な研修だったカメ~ご協力ありがとうございました!



＜管理本部＞ 早瀬啓真

第58回愛媛マラソンに、2回目となる挑戦をしました。
前回は最高気温が1℃ほどの最悪のコンディションで、完走はギリギリ果たしましたが今までの人生で最大の苦しさを味わいました。もう二度と走らないと思っていたのですが、運試しにと申し込んだら、まさかの当選。しかも西山社長と愛亀からの当選は2名というこの上ないプレッシャーとなりました。
なかなか練習ができないなか迎えた当日、日頃の行いが良かったせいか比較的暖かいマラソン日和となりました。とはいえ、長時間走り続ける訳ですから10km、20kmと進むにつれて足は動かなくなり、30kmを超えると膝や腰や腕も悲鳴をあげてきます。体中のエネルギーが底をつき、まさに精も根もつき果てた状態ですが、力になるのは道沿いの声援です。同僚も駆けつけてくれていましたし、35kmくらいで友人からビールを差し出された時は、疲れが吹っ飛ばすと笑いました。
なんとか城山公園まで戻ってきて5時間12分43秒でゴールすることができました。次のチャレンジは今のところ考えてませんが、気が向いたらまたエントリーをしたいと思えます。



みなさんの資格取得を応援していますカメ!

●道路事業部 河野亮誠
令和元年度 1級土木施工管理技術検定 合格



3年連続となる、健康経営優良法人の認定を頂きました。2020年認定企業数は中小企業法人部門において、全国で4723社、愛媛県においては49社の認定です。
愛亀グループでは2020年も社員の健康管理に対し、率先した取組をしていきたいと思えます。
＜管理本部＞





JR車両基地周辺工事

先日、開通式典が行われたJR松山駅の貨物車両基地移転に伴う舗装新設工事を施工しました。

この工事では、工区を2区間に分けての施工となり、1工区を私が担当し、もう1工区を秋本工事長の担当で施工しました。両区間とも工期が1月末、開通式の式典の日も決まっております、日数も短く、多くの工事関係者との打合せに大変苦労しました。また地元の自治会の要望で地元的一般車両は通行させながらの施工であったため、バリケード、通行止め等の看板、セーフティーコーンの配置でも細心の注意を払いました。

開通式の式典の当日、舗装面が汚れていたため散水車両2台で清掃作業を行いました。

無事に式典が行われ、鉄道高架課の方からは御礼のお言葉をいただきました。工事に携わった下請の皆様に感謝しております。ありがとうございました。

〈道路事業部／奥平政高〉



愛媛大学留学生 会社見学

1月17日、「外国人材活躍の事例を学ぼう!」と、愛媛大学国際連携推進室の呼びかけで、愛媛大学や松山大学の留学生15名が愛亀事業本部に來られました。

外国人留學生のインターンシップ受入や、高度専門職としての雇用を先進的に行っているということで、愛媛県内企業の中から三浦工業(株)様と愛亀が選定されました。

事業本部見学の後、立食形式の座談会を催して、大いに話が弾みました。閉会時には同席した愛媛大学准教授より、「今までで一番ありがたい見学会になりました。」と身に余る光栄なお言葉を頂きました。

〈管理本部／早瀬啓豊〉



VRによる安全教育

住友化学で開催された、安全体感教育に参加しました。今回はVRという技術を利用して、より現実味のある教育を目指して開催されましたが、墜落、感電体験などは映像がとてもしリアルで、交通事故などは声が出そうになるほどでした。次回は社員、下請け問わず全員に受けさせたいと思います。

〈加賀工業／木村元紀〉



まつやま 農林水まつり2020

2月15日(土)、16日(日)アイテム愛媛で、まつやま農林水産まつりが開催され、めぐりが出店しました。雨の中の開催でしたが、屋内イベントということもあり、多くの人が来場されました。

めぐりのブースもお米や野菜が通常より安く販売していることもあり、多くの人でにぎわいました。イベントへの参加は「めぐり」を宣伝するいい機会なのでこれからもがんばりたいと思います。

〈めぐり／泉憲治〉



お客様でいっぱいのおめぐりブース



イノスの家

「イノスの家は住友林業と木材建材事業本部との提携による戸建住宅の新築工事に置けるブランド戦略です。

住友林業とのパートナーシップにより、様々な情報や最新技術を導入した家づくりによりお客様に「安心・安全・快適」をお届けいたします。

社内的には、耐震補強事業に続く「柱」の事業の一つと捉えており、グループの皆さんのマイホーム計画のお手伝いができればと考えております。〈ひるり／信藤七海〉



雑誌「フノン」に掲載

カンボジアの日本人向け情報誌「フノン」2020年2月号に、愛媛県とパタンバン州との友好協定に関連して、愛亀の国道5号線工事の紹介記事が掲載されました。令和2年度からは、本格的に愛亀のエンジニアが延長50kmにも及ぶ舗装工事に従事します。



外つ国の紙幣

くしゃくしゃ春の雪
奈月

經理をしていて、いつも不思議に思うことがある。

外国紙幣なかでも、現地通貨の紙幣はやたらめったら草臥れやすい。日本の紙幣は、そんなに汚すぎるものは回収されるのだろう。

しかし、だからこそ、紙幣にも味が生まれる。

紙幣も様々な旅をして、つまり、その紙幣一枚一枚に物語があるのだ。

もしかしたら、子供が一生懸命握りしめていたのかもしれない。

もしかしたら、路上ライブのチップの一枚だったのかもしれない。

もしかしたら……

ワタナとチーを連れて、来週カンボジアへ旅立つ。

ワタナとチーに雪を見せられたことは本当に良かった。

私も、彼らのようにどん欲に、一生懸命学ぼうと改めて思えた。

そして、多くの旅をした紙幣とともに帰ってこようと思う。無限の物語を連れて。

〈管理本部／安部拓朗〉